

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

N

理科 ① 

物理基礎	化学基礎
生物基礎	地学基礎

 (2科目選択)  
各科目 50点

注意事項

- 1 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。特に、解答用紙の解答科目欄にマークされていない場合又は一つの解答科目欄で複数の科目にマークされている場合は、その科目は0点となります。
- 2 出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出題科目	ページ	選 択 方 法
物 理 基 礎	4～19	左の4科目のうちから <u>2科目</u> を選択し、 解答しなさい。解答する科目の順番は問いま せん。解答時間(60分)の配分は自由です。
化 学 基 礎	20～31	
生 物 基 礎	32～49	
地 学 基 礎	50～61	

- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

## 6 不正行為について

- ① 不正行為に対しては厳正に対処します。
  - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者がカードを用いて注意します。
  - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。





# 化学基礎

(解答番号  ~ )

必要があれば、原子量は次の値を使うこと。

H 1.0

C 12

O 16

**第1問** 次の問い(問1～7)に答えよ。(配点 25)

問1 次の記述(a・b)に当てはまるものとして最も適当なものを、それぞれの解答群の①～⑤のうちから一つずつ選べ。

a 1価の陽イオンになりやすい原子

① Be

② F

③ Li

④ Ne

⑤ O

b 共有結合の結晶であるものの組合せ

① ダイヤモンドとケイ素

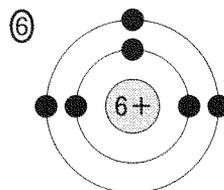
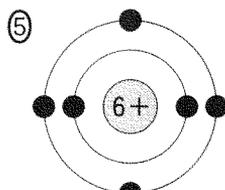
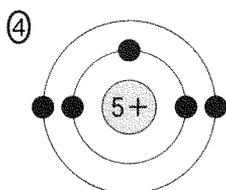
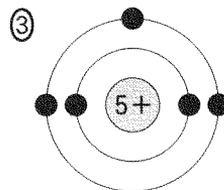
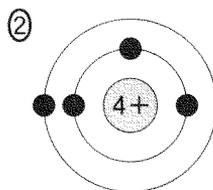
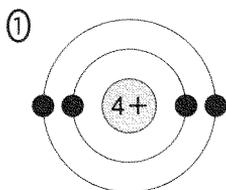
② ドライアイスとヨウ素

③ 塩化アンモニウムと氷

④ 銅とアルミニウム

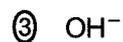
⑤ 酸化カルシウムと硫酸カルシウム

問 2 ホウ素原子の電子配置の模式図として最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 3



 原子核 (数字は陽子の数)  
 電子

問 3 電子の総数が  $N_2$  と同じものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 4



## 化学基礎

問 4 原子 X および Z からなり、化学式が  $X_2Z_3$  で表される物質がある。X および Z のモル質量がそれぞれ  $M_x$  (g/mol) および  $M_z$  (g/mol) であるとき、物質  $X_2Z_3$  5 g に含まれている X の質量を求める式として正しいものを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。  g

①  $\frac{2M_x}{2M_x + 3M_z}$

②  $\frac{5M_x}{2M_x + 3M_z}$

③  $\frac{10M_x}{2M_x + 3M_z}$

④  $\frac{2M_x}{3M_x + 2M_z}$

⑤  $\frac{5M_x}{3M_x + 2M_z}$

⑥  $\frac{10M_x}{3M_x + 2M_z}$

問 5 純物質アと純物質イの固体をそれぞれ別のビーカーに入れ、次の実験Ⅰ～Ⅲを行った。アとイに当てはまる純物質として最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つずつ選べ。ア 6 ・イ 7

実験Ⅰ アの固体に水を加えてかき混ぜると、アはすべて溶けた。

実験Ⅱ 実験Ⅰで得られたアの水溶液の炎色反応を観察したところ、黄色を示した。また、アの水溶液に硝酸銀水溶液を加えると、白色沈殿が生じた。

実験Ⅲ イの固体に水を加えてかき混ぜてもイは溶けなかったが、続けて塩酸を加えると気体の発生を伴ってイが溶けた。

- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| ① 硝酸カリウム | ② 硝酸ナトリウム | ③ 炭酸カルシウム |
| ④ 硫酸バリウム | ⑤ 塩化カリウム  | ⑥ 塩化ナトリウム |

## 化学基礎

問 6  $1.013 \times 10^5 \text{ Pa}$  のもとでの水の状態変化に関する記述として誤りを含むものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 8

- ① ポリエチレン袋に少量の水を入れ、できるだけ空気を除いて密封し電子レンジで加熱し続けたところ、袋がふくらんだ。
- ② 氷水を入れたガラスコップを湿度が高く暖かい部屋に置いておいたところ、コップの外側に水滴がついた。
- ③ 氷を加熱し続けたところ、 $0^\circ\text{C}$  で氷が融解しはじめ、すべての氷が水になるまで温度は一定に保たれた。
- ④ 水を加熱し続けたところ、 $100^\circ\text{C}$  で沸騰しはじめた。
- ⑤ 水を冷却してすべてを氷にしたところ、その氷の体積はもとの水の体積よりも小さくなった。

問 7 物質の用途に関する記述として誤りを含むものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 9

- ① 塩化ナトリウムは、塩素系漂白剤の主成分として利用されている。
- ② アルミニウムは、1円硬貨や飲料用の缶の材料として用いられている。
- ③ 銅は、電線や合金の材料として用いられている。
- ④ ポリエチレンテレフタレートは、飲料用ボトルに用いられている。
- ⑤ メタンは、都市ガスに利用されている。

(下書き用紙)

化学基礎の試験問題は次に続く。

## 化学基礎

第2問 次の問い(問1～7)に答えよ。(配点 25)

問1 180 gの水に関する記述として誤りを含むものを、次の①～④のうちから一つ選べ。ただし、アボガドロ数( $6.02 \times 10^{23}$ )を $N$ とする。 10

- ① 水素原子の数は、 $10N$ である。
- ② 原子核の数は、 $30N$ である。
- ③ 共有結合に使われている電子の数は、 $40N$ である。
- ④ 非共有電子対の数は、 $20N$ である。

問2  $0^\circ\text{C}$ 、 $1.013 \times 10^5 \text{ Pa}$ において、体積比2 : 1のメタンと二酸化炭素からなる混合気体1.0 Lの質量は何gか。最も適当な数値を、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 11 g

- ① 0.71                      ② 1.1                      ③ 1.5
- ④ 2.0                      ⑤ 2.2

問 3 モル濃度が最も高い酸または塩基の水溶液を、次の①～④のうちから一つ選べ。 12

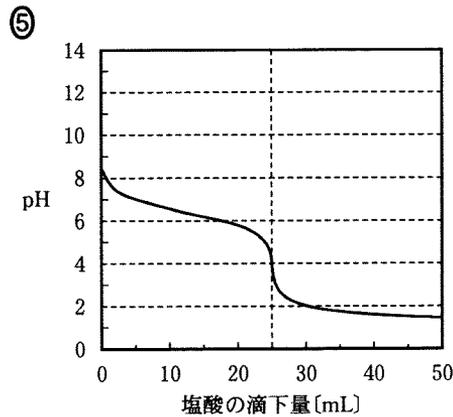
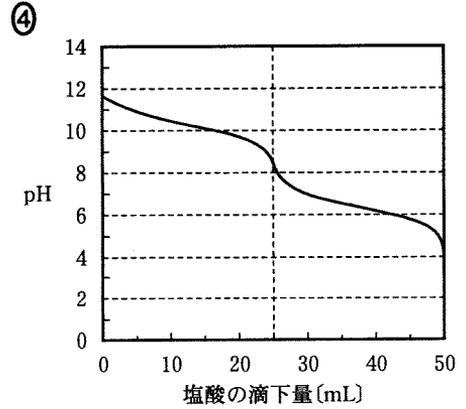
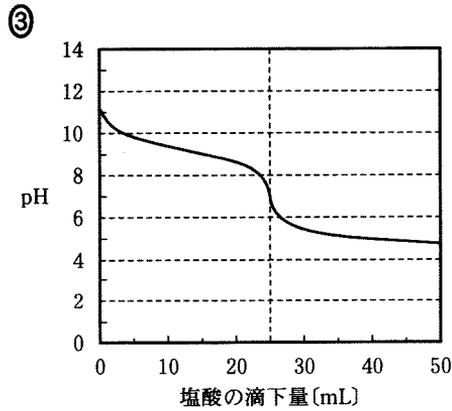
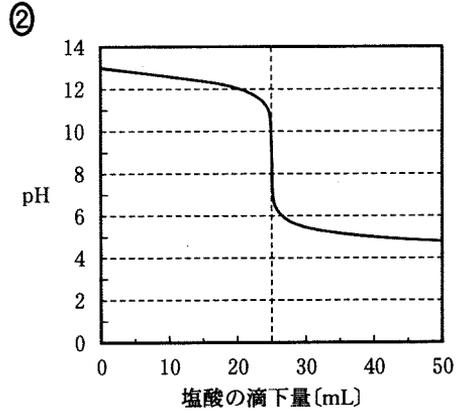
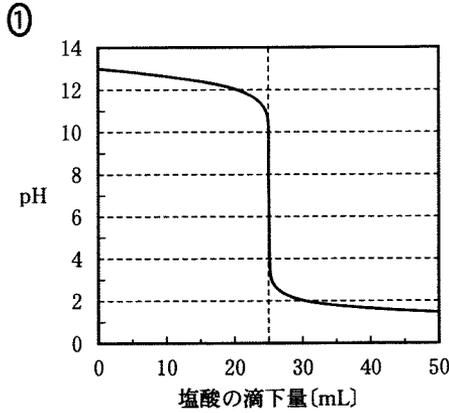
	酸または塩基の水溶液	溶質のモル質量 [g/mol]	質量パーセント 濃度[%]	密度 [g/cm <sup>3</sup> ]
①	塩酸	36.5	36.5	1.2
②	水酸化ナトリウム水溶液	40.0	40.0	1.4
③	水酸化カリウム水溶液	56.0	56.0	1.5
④	硝酸	63.0	63.0	1.4

問 4 身近な物質の pH に関する記述として誤りを含むものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

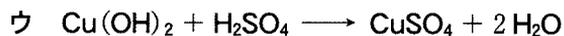
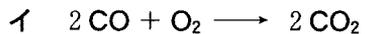
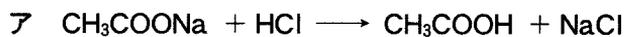
- ① 炭酸水の pH は、血液の pH より小さい。
- ② 食酢の pH は、牛乳の pH より小さい。
- ③ レモンの果汁の pH は、水道水の pH より小さい。
- ④ セッケン水の pH は、食塩水の pH より小さい。

# 化学基礎

問 5 0.10 mol/L の  $\text{NaHCO}_3$  水溶液 25 mL を 0.10 mol/L の塩酸で滴定したときの  
 滴定曲線として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 14



問 6 次の反応ア～オのうち酸化還元反応はどれか。正しく選択しているものを、  
下の①～⑥のうちから一つ選べ。 15



① ア, ウ

② イ, エ

③ イ, オ

④ ア, ウ, エ

⑤ ア, ウ, オ

⑥ イ, エ, オ

## 化学基礎

問 7 身のまわりの電池に関する記述として下線部に誤りを含むものを、次の①～

④のうちから一つ選べ。 16

- ① アルカリマンガン乾電池は、正極に  $\text{MnO}_2$ 、負極に Zn を用いた電池であり、日常的に広く使用されている。
- ② 鉛蓄電池は、電解液に希硫酸を用いた電池であり、自動車のバッテリーに使用されている。
- ③ 酸化銀電池(銀電池)は、正極に  $\text{Ag}_2\text{O}$ を用いた電池であり、一定の電圧が長く持続するので、腕時計などに使用されている。
- ④ リチウムイオン電池は、負極に Li を含む黒鉛を用いた一次電池であり、軽量であるため、ノート型パソコンや携帯電話などの電子機器に使用されている。

(下書き用紙)

